



# 環境経営レポート

第11版

(対象期間: 2024年5月1日～2025年4月30日)



## 目次

	頁
I. 組織の概要	1
II. 対象範囲、実施体制	1
III. 環境経営方針	2
IV. 環境経営目標・実績	3
V. 取組図表等	4
VII. 環境経営計画及びその取組結果とその評価 並びに次年度の取組み内容	5
VIII. 環境関連法規の遵守状況の確認及び	6
IX. 代表者による全体評価と見直し結果	7

株式会社 ダイバ

発行日 2025年7月22日

# I 組織の概要

- 1) 事業者名 株式会社 ダイバ
- 2) 代表者氏名 大場 将史
- 3) 所在地 本社: 静岡県磐田市今之浦5丁目7の9  
上岡田工場(資材置場): 静岡県磐田市上岡田464
- 4) 事業活動 建設業(土木、管、舗装、水道施設  
建築、機械器具設置工事業)
- 5) 従業員数 10名
- 6) 環境管理責任者 代表取締役 大場 将史  
連絡担当者 同 上
- 7) 連絡先 TEL (0538)-32-4624  
FAX (0538)-34-9121  
(E-mail: daiba@yr.tnc.ne.jp)
- 8) 建設業許可
- 建設業  
静岡県知事許可 特定-6 第6071号  
業種 管工事・土木工事・舗装工事・水道施設工事  
許可年月日 令和6年8月30日  
有効期限 令和11年8月29日
- 静岡県知事許可 一般-6 第6071号  
業種 建築一式工事・機械器具設置工事  
許可年月日 令和6年8月30日  
有効期限 令和11年8月29日
- 産業廃棄物収集・運搬業許可 ※自主運搬のみ  
静岡県 第02201204847号  
許可品目: 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず  
及び陶磁器くず、がれき類、汚泥、紙くず、木くず、繊維くず  
許可年月日: 令和5年12月26日 有効期限: 令和10年12月25日

## 9) 事業の規模

- ① 設立(現在地) 昭和38年10月
- ② 事業規模

活動規模	単位	2022年	2023年	2024年
売上高	百万円	283	166	162
従業員	人	10	10	10
事務所床面積	m <sup>2</sup>	1,149	1,149	1,149
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	7,911	7,911	7,911
上岡田工場(資材置場)	m <sup>2</sup>	9,835	9,835	9,835

10) 事業年度  
5月1日～翌年4月30日

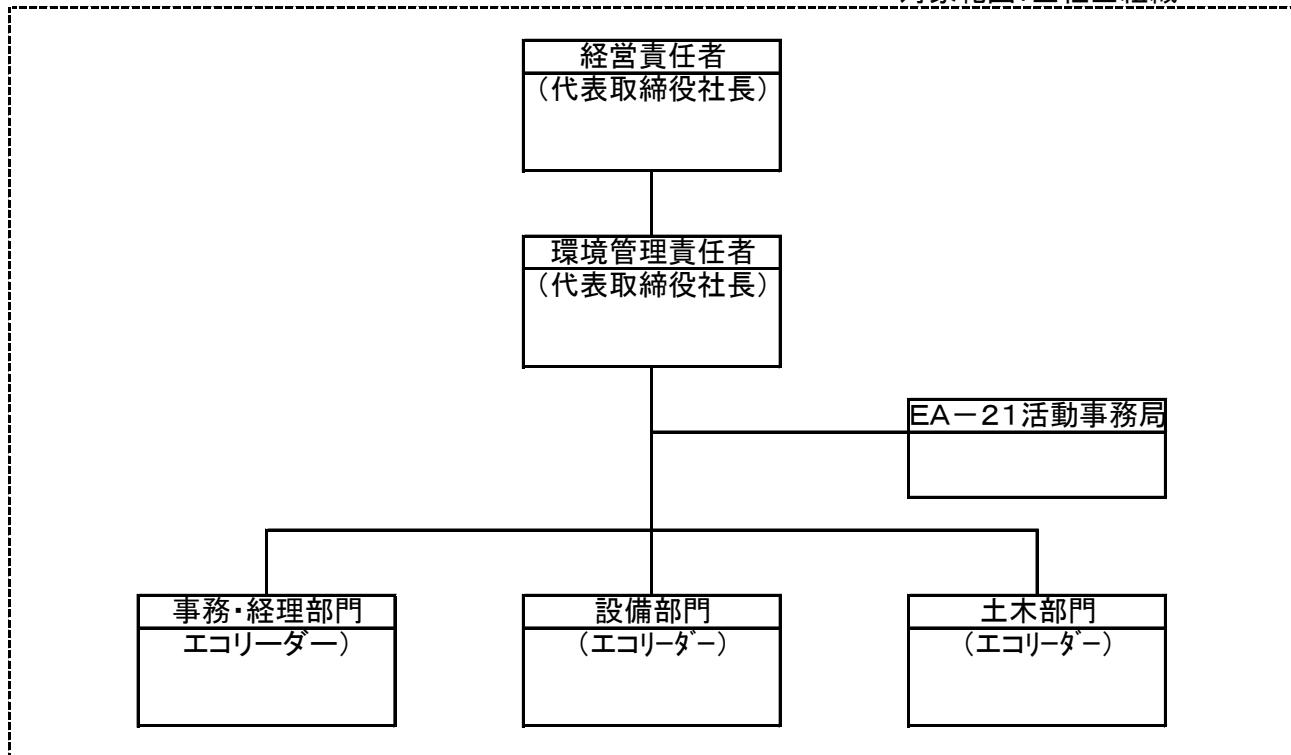
# II 対象範囲

- 活動範囲: 建設業(土木、管、舗装、水道施設、建築、機械器具設置工事業)
- 対象組織: 【全社全組織】
- レポートの対象期: 令和6年5月～令和7年4月
- レポートの発行日: 令和7年7月22日



## II-1 実施体制

2025年7月22日 現在  
対象範囲:全社全組織



### <環境管理組織における機能>

#### 経営責任者

- ①環境経営全般に対しての責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④実施体制の構築

#### 環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

#### EA-21活動事務局

- ①各部門のデータのまとめ
- ②活動計画の予実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書・記録の管理

#### 各部門

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤従業員教育

### III 環境経営方針

#### 《企業理念》

(株)ダイバは、建設工事の事業活動を通じ、美しい近隣の自然、更には地球環境を守るための環境に配慮した工事を積極的に取り組む企業をめざします。

#### 《環境経営方針》

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。

- ① 建設工事は環境に配慮した工事を実施いたします。
- ② 建設リサイクル法による適正処理をいたします。
- ③ グリーン商品の調達活動に取り組みます。
- ④ CO<sub>2</sub>削減の為の省エネ活動に取り組みます。
- ⑤ 廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取り組みます。
- ⑥ 水資源を有効活用し、節水に努めます。

2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営を継続的に改善致します。

3. 環境に関する法規制及び協定を遵守致します。

4. 全社員が環境方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。

制定年月日 2014年5月1日  
改定年月日 2018年5月1日

株式会社 ダイバ  
代表取締役 大場 将史

## IV 環境経営目標

下表の通り、今後の短・中期環境目標を設定致しました。各年度の目標は、基準年度と同じ売上高という前提で作成し、又削減率については基準年度よりn年後の目標を $(0.99)^n$ としています。購入電力は中部電力(2024年度)のCO<sub>2</sub>調整後排出係数「0.393kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を適用しています。

2024

目標項目	目標 単位	基準年度	'25年目標	'26年目標	'27年目標	'28年目標
		24.5～'25.4	'25.5～'26.4	'26.5～'27.4	'27.5～'28.4	'28.5～'29.4
		基準比	0.99	(0.99) <sup>2</sup>	(0.99) <sup>3</sup>	(0.99) <sup>4</sup>
環境配慮工事の提案1件以上	%	1件	1件以上			
グリーン購入に配慮する		配慮	配慮			
二酸化炭素	総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	45,317	44,863	44,415	43,971
本社、上岡田工場(資材置場)	購入電力	〃	11,361	11,248	11,135	11,024
	ガソリン	〃	11,196	11,084	10,973	10,863
	現場軽油	〃	22,759	22,532	22,306	22,083
水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	437	433	428	424	420
建設副産物リサイクル率90%以上	%	99.3%	98			

## V 環境経営目標の実績

目標項目	目標 単位	基準年度 22.5～'23.4	2024年度 24.5～'25.4		目実比	評1※1
		基準比	目標A	実績B		
環境配慮工事の提案1件以上	%	1件	1件	1件	1.000	○
グリーン購入に配慮する		配慮	配慮	配慮	配慮	○
二酸化炭素	総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	42653	41,804	45,317	1.084
本社、上岡田工場(資材置場)	購入電力	〃	9645	9,453	11,361	1.202
	ガソリン	〃	10167	9,965	11,196	1.124
	現場軽油	〃	22840	22,386	22,759	1.017
水道使用量の削減	m <sup>3</sup>	389	381	437	1.146	△
建設副産物リサイクル率90%以上	%	99%	98.0%	99.3%	1.013	○

※1 B/Aが1以下は目標達成○印、目標未達成△、増加目標はこの逆。

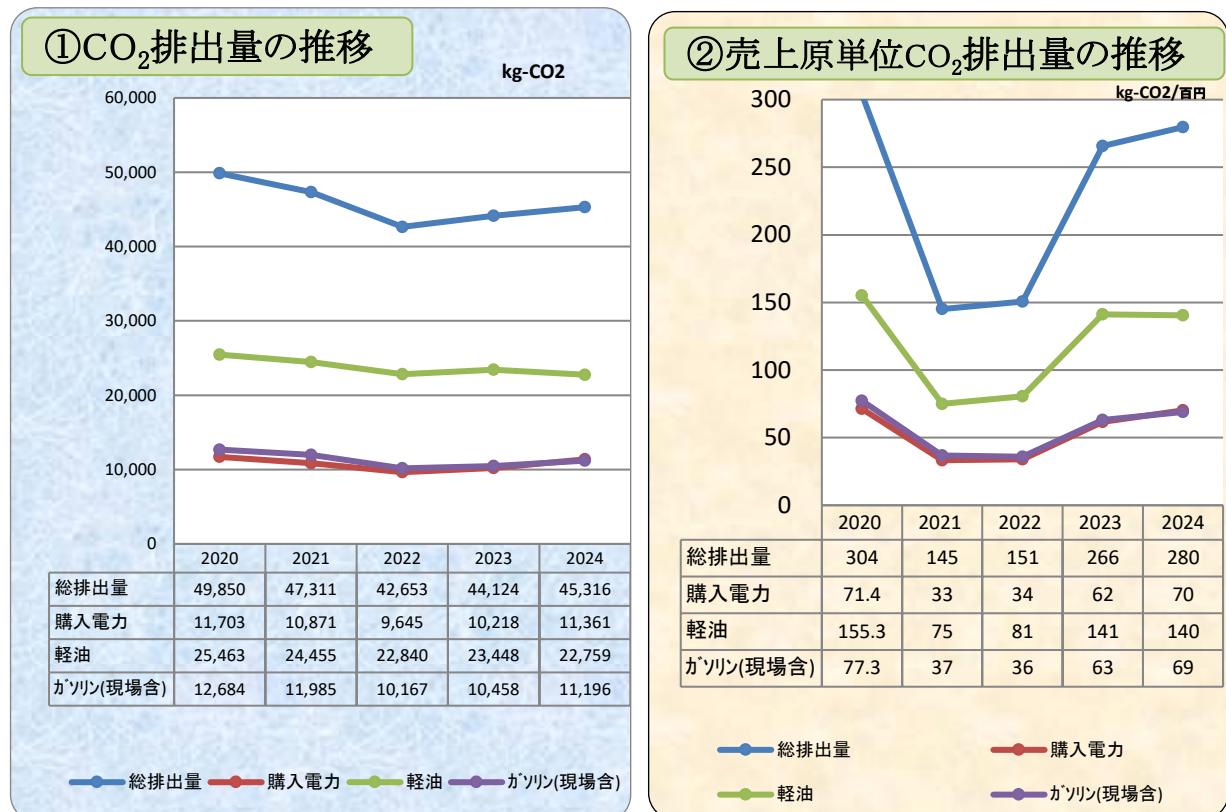
※2 環境配慮工事の提案1件以上:工期短縮のための工程管理の実施。

### ＜原因分析・是正処理＞

環境目標項目	目標達成又は未達成の原因等、及び是正処置
ガソリン・現場軽油	5か年計画での目標値の設定上、弊社にとってかなり高い目標になっていると感じる。本年度は、元請工事に加え下請の工事の件数も増えたことにより、現場で動き重機・トラック等を使用することが増えたため使用量が増えてしまったと考える。対策としては、アイドリングストップの徹底、セーフドライブの喚起に取り組み使用量減少を目指したい。
購入電量	夏場の酷暑や冬の寒さもありエアコン等の使用量が例年に比べて多かつた。夕方などエアコンを使用しない時間を設けると共に、設定温度の調整に努めたい。

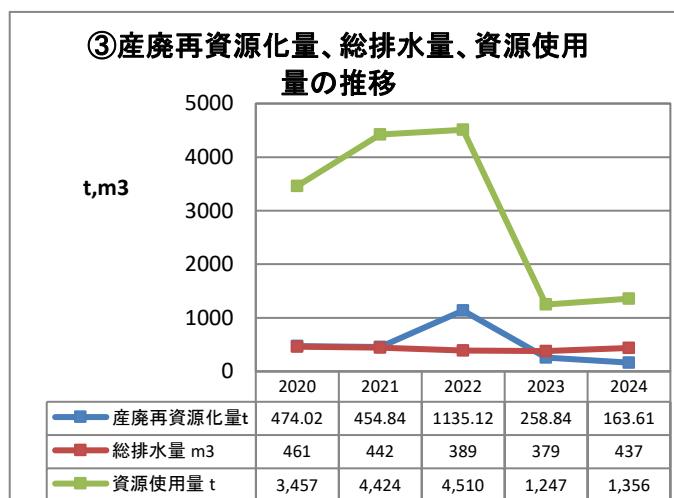
## VI 取組の図表等

### (1) 二酸化炭素排出量の特長(2024年度の実績)



エネルギーの消費量は前年度と同程度であった。

売上は微減。原因是、完成工事のタイミングがずれるためである。



- 建設副産物等の再資源化量と資源使用量は、工事内容により変動します。
- 産廃の再資源化率は90%以上を達成しています。
- (電力、水は自宅・事務所の全体の使用量を把握しています)



③太陽光発電実績 今期は48,887kWhで、今期購入量28,909kWhの約1.69倍の発電量相当です。

発電モジュールは平置きの為、夏場は発電量が低いが風等には安全という特徴もある。



## VII 環境経営計画及びその取組み結果と評価並びに次年度の取組内容

目的	項目	活動項目	担当	スケジュール								評価	評価内容	今後(次年度)の取組内容	
				5	6	7	8	9	10	11	12				
環境配慮工事		①環境配慮工事施工	o.m										○	低騒音型,廃ガス規制型の建設機械の使用	継続実施
		②環境配慮工事提案											○	施工後の美化活動	継続実施
グリーン購入	事務用品	①環境ラベル対応品の購入	o.t										○	実態調査	継続実施
		②何回も使える物購入											○	ボールペン・他	継続実施
	資材	①グリーン購入対象優先使用											○	施工計画反映	継続実施
二酸化炭素の削減	照明	①消灯の徹底(1回／週チェックする)	o.t										○	掲示→徹底されている	継続実施
		④高効率照明機器の導入(LED化)											○	電球をLED化	継続実施
	空調	①温度設定夏28℃ 冬20℃	o.t										○	表示、朝礼時説明	継続実施
		②クールビズ、ウォームビズ											○	表示、朝礼時説明	継続実施
		③フィルター定期清掃											○	月一度実施	継続実施
		④使用していない部屋の空調停止											○	徹底されている	継続実施
	乗用車・トラック他	①エコドライブ	o.m										○	エコドライブカード配布	継続実施
		②エコ整備											○	省エネオイルOK	継続実施
		③日常・定期点検の実施											○	日常点検化	継続実施
	重機	①アイドリングストップ	o.m										○	施工計画反映・徹底されている	継続実施
		②省エネ重機使用											○	施工計画反映・徹底されている	継続実施
	工事	①見積ソフトによるCO2把握	o.m										○	見積ソフト導入	継続実施
		②計画反映→活動→実績											○	1件計画作成	継続実施
節水	上水	①節水表示	o.t										○	表示OK	継続実施
		③節水こまの取り付け											○	実施	継続実施
廃棄物のリサイクル	事業所排出物	①コピー用紙の両面使用	o.t										○	裏紙使用	継続実施
		②集約化購買											○	徹底されている	継続実施
		③FAXのPDF化											○	徹底されている	継続実施
		④3Rの実践											○	徹底されている	継続実施
		⑤廃棄物の分別とリサイクル											○	分別基準と実施	継続実施
産業廃棄物		①古紙,カン,ビン,ペットボトル等の分別	o.m										○	徹底されている	継続実施
		②電子マニフェストの導入											○	導入	継続実施
建設副産物リサイクル	建設副産物リサイクル	①廃棄物の分別化	o.m										○	基準の作成と分別BOX設置	継続実施
		④仮設資材・用具のリユース化											○	徹底されている	継続実施
地域貢献		①花いっぱい運動	o.m										○	花壇の整備	継続実施
		②近隣道路清掃											○	月1回作業場前道路清掃	継続実施
R7.7.22												取組責任者	大場 将史		

## VIII 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

### 1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。  
確認者 大場将史

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理業者との委託契約	契約(書)の締結	2025.4.末
	マニフェストの管理	A、B2、D票、E票の回収	
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	
	マニフェストの保管	5年間	
	廃棄物の悪臭・飛散防止	保管時には留意する	
	保管場所への掲示	60cm×60cm以上掲示	
	マニフェストの年間集計と知事(政令市市長)への報告	6月30日までに提出	
	産業廃棄物多量排出事業者の処理計画及び実施状況報告	6月30日までに許可権者に報告(前年度発生量が千トン超のとき)	
	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	有資格者を選任(特管排出事業者のみ)	
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	2025.4.末
磐田市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		2025.4.末
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事計画書・実績報告	2025.4.末
騒音・振動規制法	特定作業規制 地域住民との取り交わし	指定地域・時間帯規制	2025.4.末
フロン排出抑制法	第1種特定製品のエアコン	簡易点検の実施	2025.4.末
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫・ホームエアコン 他	2025.4.末
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	2025.4.末
環境基本法	一般的な自主努力		2025.4.末
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	2025.4.末
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	2025.4.末
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	2025.4.末
道路法、上下水道法、河川法	工事業者登録と更新及び技術士設置	登録と5年ごとの更新	2025.4.末

### 2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありません。

# IX 代表者による全体評価と見直し結果

2025.7.25  
大場将史

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項目	確認	:(必要に応じて評価・コメント記載)
	1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	記録・文書として作成しました。
	2 環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	全て目標達成できました。
	3 環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	記録に記載いたしました。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	外部からの苦情はありませんでした。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	特に問題ありませんでした。
	7 取引先,業界,関係行政機関,他外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>	別紙報告の通り
	8 その他( )		
2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	<p>今期で、エコアクション21の環境経営システムを導入して11年目を迎えました。世界的な異常気象による被害が発生している中、磐田市でも台風などの自然災害があり、地域の企業でも被害が多数出了。温暖化が進み、夏の作業には細心の注意が必要となっております。企業として環境問題へ積極的に取り組みます。</p> <p>弊社の大きな取り組みとしては太陽光の稼働があります。発電量は当初計画より多い電力を供給しています。また、重機等の機械器具も少しずつではありますが新たな基準のものに買い替えており、工事量が増減する中でガソリンや軽油等の減少に会社として取り組めていると考えています。実際の使用数量は売上や仕事量等でどうしても変動してしまいますが、新たな重機を活用することで環境への負荷を削減できていると考えます。</p> <p>引き続き今後もエコアクション21の活動を通して弊社としても環境問題に取り組んでいきたいと思います。</p>		
	2025年7月25日 代表取締役 大場 将史		
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	2017年版ガイドラインに対応
	2 環境経営目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	3 環境経営計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	4 実施体制	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
3 ・ 見 直 し 指 示	5 その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	6 その他(外部への対応)	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	